

令和4年7月6日コープしがと「つながりチューリップ協定」を締結しました



コロナ禍において貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性が増加する中で、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品等の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど、女性に寄り添った支援を行うチューリップ事業に賛同頂いた生活協同組合コープしがと相互協定を締結しました。



協定内容

- ①相互の活動推進のための情報共有・情報交換
- ②事業の周知・啓発
- ③コープしがの草津市内の拠点において寄付BOXを設置し、組合員から食料品および生理用品の寄付の申出があれば、物品を草津市社会福祉協議会へ提供
- ④その他事業支援

コープしが 白石理事長

「この協定締結をきっかけに、組合員のみなさんが自分に何ができるのかを考え、一人ひとりのできることが広がってほしい。」

草津市社会福祉協議会 清水会長

「共に手を取り合って、積極的に取り組んでいきたい。」

提供セット内容



生理用品提供時

生活困窮者、病気や障害、心の相談、就職相談（滋賀わかもの支援・マザーズジョブステーション等）他、多様な相談窓口連絡先ちらしを封入し、生理貧困の解決に繋げる。

生理用品セット組み

ボランティアグループで用意。
受け取ることで終わりではなく、生理用品をセット組みする等ボランティア活動への参画を促す。

その他

草津市社会福祉協議会・行政・相談機関にて連絡会を年2回実施。

チューリップの花言葉は「思いやり」だよ
人と人とのつながりが深まることを願って名付けました。皆さまのご協力をおまちしております。

